



JAPAN INTERFACE  
JIF

JAPAN INTERFACE FÜR KULTUR,  
SPRACHE UND WIRTSCHAFT  
文化・言語・経済の架け橋  
ジャパンインターフェイス

# JIF

JAPAN INTERFACE

## ご紹介

JIFは人生の3分の2を海外に身を置く脱国境人としての主宰者が言語と文化と経済の分野につき研鑽・実践した経験を基に編み出した活動媒体で、その根幹になっているのがInterface「橋渡し」機能です(受講料、託児料その他詳細はJIF ウェブサイト [japaninterface.jimdo.com](http://japaninterface.jimdo.com) 参照)

### 主宰者紹介

一橋大金融論、某銀行外国部勤務に続くヒマラヤ遠征(アフガニスタン、パキスタン7千米級三峰初登攀、植村直巳との世界最初のエベレスト岩壁直登により8050m到達)。翌年パキスタン、アフガニスタン、トルコ、ブルガリア、ドイツ経由陸路7500kmを経て到達したデンマークを振り出しにヨーロッパ移住。ケルン大学言語学科卒業、デュッセルドルフ大学言語学科講師を経てJIF主宰。この間(かん)日本企業二社でのコンサルティング並びにメッセ(ハノーバー機械メッセ etc.)での講演、テーマ領域: 精神構造 / 企业文化 → 日本製造業成功の秘密

異文化に於ける生活・協働作業の中で最重要なのが言語インターフェイスであることには今更多言を要しません。だからこそ語学コースがJIFの中核活動となっています。

### 言語学的インターフェイス

JIFは複数言語、特に英独両言語の言語学的インターフェイスの役割も果たしています。英語とドイツ語の西ゲルマン語としての密接な関係は単語・文法全ての領域に見られます。このことはまた、この両言語の類似性ないし相違(前述「JIF 言語学講座」参照)を意識化した学習法には複数の利点があることを意味しています。語彙の領域については例えば英語の d/p がドイツ語の t/f に対応している単語(例えば英語の deep がドイツ語の tief に対応)が無数にあるといったことに目を付け、レッスンの中でそれを指摘することによりドイツ語単語が記憶装置に入りやすいという利点もあります。

### JIF helping service

慣れない外国で、しかも小さい子供を抱えて生活をするということは決して容易ではありませんね。子供が突然真夜中に病気になり救急車を呼ぶ、交通事故・空き巣狙いに遭った時にも警察と連絡を取る、といった状況でJIFが直ちに助っ人をやってきたのは過去も現在も変わりません。



#### JIFの教室

Düsseldorf-Niederkassel, Lewitstr. 37

日本人学校から徒歩100m、日本食スーパー「和洋」の背後のビルの(日本式)二階。建物玄関入口付近にある表札「Sato (JIF)」のベルを押してください。

#### 連絡先

成るべくメールにてご連絡下さい。直ちにお返事致します

Email : [SatoJapanInterface@t-online.de](mailto:SatoJapanInterface@t-online.de)

電話 : 0211-38738172

ウェブサイト : [japaninterface.jimdo.com](http://japaninterface.jimdo.com)



## JIF 語学コースの特徴

「今すぐ使えるドイツ語」は  
PR キャッチ・フレーズとしては恰好いい！！

肝心なのはどうすればそれが可能かということ。それには先ず既に現地で生活しているという事実を大きな利点として捉え、現実に直面したこと、知りたいことを受講者自らがぶつけてactiveに学習することが決め手。「ここに駐車すること許されていますか Ist es erlaubt, hier zu parken?」といったドイツの日常で直ぐにも使わざるを得ないドイツ語会話で重要なzu-不定詞構文(英語のto不定詞構文に相当するのでいつも簡単)も教科書一辺倒でドイツに来て一、二年経ってから初めて習うのではなく遅すぎます。数冊に分けて成るべく沢山の教科書を買わせたい出版社、或いは成るべく長いこと受講させたい語学学校の商業ベースに乗せられたらドイツ滞在が4・5年あっても初級レベル(A1/A2)にも到達しません。



### 家庭の主婦の為の JIF ドイツ語グループ・レッスン

#### 教科書偏重を廃して日常の現実に即したレッスン

毎回教科書を使ったレッスンを始める前の20分は、受講者は(例えば前日の買い物、子供の遊び場、或いは週末外出の際に)必要に迫られたことに付き何でも日本語で質問(その為にもJIFの独日英トリリンガル教師によるドイツ語レッスンは他校より長めの100分)。教科書では未だ習っていないことでも「それは、いつかその内に」でなく必要に迫られたことは取り敢えずその場で解決。教科書だけに頼ったレッスンでは「今すぐ使えるドイツ語」は絵に描いた餅。

#### up up の積りがあっぷあっぷ

レッスンが先に進む度に、新しい教科書に入る度に次々に新しい単語、構文が出てきて記憶装置が飽和状態になりあっぷあっぷしている方はいませんか。人の記憶装置は関連性によって活性化されます。応用言語学のこの認識を取り入れたのがJIFのレッスン・メソッドで市販のA1教科書を使って最低A2、部分的にはB1レベル迄 あっぷあっぷしないで up up して行きます。JIF グループレッスンは最大限6人、通常3人ないし4人の少人数クラス(6人を越えるグループレッスンは効果半減)。週2回の定例レッスン以外にメールによる緊急質問にも対応。一時帰国等の事情で長期欠席の場合は追いつき個人補講(無料)。

### 駐在員向け JIF ドイツ語 / 英語個人レッスン

#### ドイツ・ヨーロッパの政治・経済・文化に関わる背景 並びに時事情報も取り込んだ中身の濃いレッスン

ドイツに住み、ドイツ人、或いはその他のヨーロッパ人とのビジネス活動に明け暮れる国際的ビジネスマンには、買い物その他の日常会話に加え具体的なビジネス交渉に必要な会話及びビジネスメールの書き方といった実戦能力の必要性は当然。ただ、目下ドイツ、ヨーロッパを揺るがしている時事問題(例えばイギリスのEU離脱 / 特に今年はドイツの方向を決定する選挙年 / 避難民問題 etc.)に関わる一般情報並びにそれに関わる用語を取り込んだ学習も有効。と同時に自分の仕事、自分の国についてもドイツ人に話せる能力も身に付けてもらいます。ここで決定的なのは自国ないし自社の説明をする為に習う必要用語・構文というものは実に明確に記憶装置に定着するという事実です。ということは、それを通じてドイツ語能力を著しく高めることにもなるのです。

日本と殆ど正反対の地理的特徴を持つドイツの教科書だけに頼る授業では決して出会うことのない島国、県、半島、湾(日本経済の動脈とも言える東京湾、伊勢湾、大阪湾)といった地理用語は言うまでもなく、時には製造業、品質管理、半導体といった用語・テーマも時にはレッスンに組み込む。同じことは歴史及び文化についても言えます。

この分野でのキーワードは例えば幕府(将軍が行った政治だからShogunate、英語でもshogunate)、明治維新(Meiji-Restauration / Meiji-Erneuerung)、仏教(Buddhismus、英 buddhism)、神道(Shintoismus、英語 Shintoism)。

※出張などの理由で出席不能なレッスンは必ず他日に補講(週末も可)

### 児童 英語 / ドイツ語 グループ・レッスン

真の会話能力はレッスンの中で縦横無尽に会話を繰り返すことだけにより可能。進学のみを念頭においた教科書と大量の宿題だけに頼る硬直的な学習を排して、「君は日本の何県から来たの？ Which prefecture do you come from？」/「僕は兵庫県から来ました。詳しく言うと神戸から I come from Hyogo prefecture. More exactly from Kobe.」といった子供達の現実に関わる会話文に始まり「今日は学校でどの科目を習ったの？ Which school subjects did you learn at school today？」といった過去形が入る文も既に小1段階で習います。

